

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 スポーツを支える人材の育成, 団体の活性化
-----	-------------------------

施策主管課	スポーツ振興課	総合計画記載頁	117ページ
-------	---------	---------	--------

1 施策の位置付け

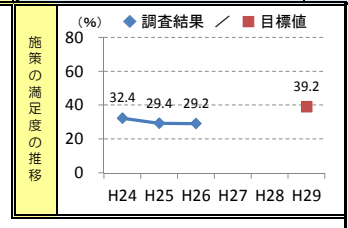
政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	11 生涯にわたるスポーツ活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	人材や団体、自然などの地域資源が活かされながら、市民それぞれの目的に応じた自主的・継続的なスポーツ活動が活発化し、暮らしの中にスポーツがより深く浸透しています。
------	-------------------------	----------------	----------------------	---------------------	--

2 施策の取組状況

施策目標	市民のスポーツ活動が多くの指導者、スポーツ団体により支えられています。
------	-------------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	スポーツ指導者研修の受講者数(人)	単年度目標値	700	720	740	760	780	800		B	指標3	施策の満足度(%)		調査結果	32.4%	29.4%	29.2%			
現状値		700	実績値	700	706	612				目標値(H29)			800	単年度の達成度	100.0%	98.1%	82.7%				
目標値(H29)		800	単年度の達成度	100.0%	98.1%	82.7%				目標値(H29)			800	単年度の達成度	100.0%	98.1%	82.7%				
指標2	スポーツ教室の参加人数(人)	単年度目標値	41,000	41,800	42,200	42,600	43,000	43,500	A	【参考】中核市等との水準比較	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率(%)		中核市平均	37.5	38.0	34.3				B	
	現状値	40,919	実績値	40,919	52,520	44,313						実績値	49.2	51.6	41.7						
	目標値(H29)	43,500	単年度の達成度	99.8%	125.6%	105.0%						中核市での本市の順位	7位/41市中	4位/41市中	14位/42市中						
	現状値										中核市平均										
	目標値(H29)										実績値										
											中核市での本市の順位										

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について	
★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		
	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]		やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子・高齢化が進行しており、単身世帯の割合が上昇傾向にあるなど、社会環境が変化している。</li> <li>・地域コミュニティが希薄化し、地域での教育力や生活環境の安全、安心感の低下など、さまざまな問題が指摘されている。</li> </ul>
施策指標	<p>指導者研修については、受講者が固定化していることなどが原因と考えられ、また、スポーツ教室については、年度目標は達成しているが、前年度から大きく受講者が減少しており、これは、市体育館が主たる実施場所となっており、市民に定着しているが、10月まで改修により他会場で代替したこと等により、アクセス上の理由などから、一部利用者の足が遠のいたことなどが原因と考えられる。</p>

市民満足度	指導者や団体が活発に活動しているが、施策内容の認知度が必ずしも高くないこと等により、施策の満足度は昨年度と同水準にとどまっていると考えられる。
総合評価	79点
	概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H26事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	スポーツ推進委員の育成	★	スポーツ指導者の資質向上	スポーツ推進委員	・スポーツ推進委員(任期2年)の任命 ・各種行事や研修会の実施	計画どおり	5,149	S38		スポーツ基本法に基づき任命したスポーツ推進委員について、各委員で構成する市スポーツ推進委員会における研修会等の実施によって委員の資質向上を図るとともに、各種スポーツ事業の実施や市事業への参画等を通して、本市スポーツ活動の活性化を図る。
2	少年スポーツ指導員の育成	○★	スポーツ指導者の資質向上	少年スポーツ指導員	・少年スポーツ指導員(任期1年)の任命 ・少年スポーツ指導員研修会の開催	計画どおり	8,180	S48		基礎的・専門的な内容の研修を実施し、より資質の高い指導者を育成することにより、少年スポーツ活動の充実を図る。
3	スポーツ情報システム整備事業【再掲】		指導者登録機能を有するホームページ「U-sports」の有効活用	・一般市民 ・スポーツ関係者	スポーツ情報システム「U-sports」の管理運営	計画どおり	130	H22		市内のスポーツ情報を網羅し、様々なスポーツ関係者が参加・利用可能な情報受発信の場として、情報量や質などの充実について検討しながら、スポーツ情報システム「U-sports」の周知、利活用を図る。
4	宇都宮市民体育協会育成補助金		スポーツ活動団体の育成・支援	宇都宮市民体育協会	競技団体、地区体育協会、スポーツ少年団などの活動支援	計画どおり	21,086	S23		スポーツ種目の多様化や市民のライフスタイルの変化などに伴う、市民のスポーツニーズに対応していくため、市民スポーツの振興及び競技スポーツの競技力向上を目的として本市スポーツ活動を支援している市体育協会を支援することにより、市民のスポーツ活動の促進を図る。
5	スポーツ大会出場補助金		スポーツ活動団体の育成・支援	・市内スポーツ団体 ・市民(個人) ・市内学校の応援団	県外で開催される全国大会出場者や応援団への費用の一部補助	計画どおり	3,565	H17から全国大会以上を対象(応援補助はH21～)		全国大会など、より高いレベルの大会への出場や応援遠征は、競技力の向上や郷土意識の醸成、更にはスポーツを支える活動への参加促進など、本市のスポーツ振興に寄与することから、市内の団体や個人が全国大会に出場する場合や市内の学校が全国大会の応援遠征を行う場合の費用の一部の補助を実施する。
6	プロスポーツチームへの支援	○★	プロスポーツチームへの支援	・栃木SC ・リンク栃木ブレックス ・宇都宮プリツェン	・試合会場、練習場の優先提供 ・ファン層拡大のための広報活動 ・プロスポーツクラブ・チーム名の市施設への活用	計画どおり	—	H18		それぞれのチームの練習会場として、練習・活動等が安定的に継続していけるよう、ファン層拡大等のための広報活動や社会貢献活動、試合会場や練習場所となる施設の環境整備(天然芝ピッチ改良等)や優先利用などにより支援を実施する。 また、一流の選手のプレーを見ることは、市民のスポーツへの興味・関心を高めるとともに、青少年の健全育成にも寄与することから、市民の見る機会の充実に努める。

4 今後の施策の取組方針

		今後の方向性
課題	<p>・市民のスポーツ活動を支えていくためには、多くの指導者の育成やスポーツ団体の活性化が不可欠であるため、中長期的な視点での育成や裾野拡大も含め、指導者の資質向上や新たな指導者の発掘に取り組むとともに、指導者と指導の場のマッチングなどに取り組む必要がある。</p> <p>・スポーツ人口の裾野拡大やスポーツへの機運向上に資するよう、効果的にプロスポーツチームへの支援を行う必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉 ◆生涯スポーツ社会の実現、すなわち「ひとり1スポーツの実現」を目指し、平成27年3月に策定した「宇都宮市スポーツ推進計画」に基づき、市スポーツ推進委員や市体育協会をはじめとするスポーツ団体と連携・協力しながら、「スポーツを支える人材の育成・団体の活性化」に取り組む。</p> <p>〈主要事業〉 ◆少年スポーツ指導員の育成 チームの活動に参画できる新たな指導者の発掘に努めるとともに、各種スポーツ団体や大学、民間企業などと連携した研修等の実施により、スポーツ指導者の育成・資質の向上を図る。 ◆プロスポーツチームへの支援 スポーツ人口の裾野拡大やスポーツへの機運向上に資するよう、市民が見る機会の充実に努めるとともに、本市をホームタウンとするプロスポーツチームの活動環境等に対する支援など、効果的にプロスポーツチームへの支援を行う。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆スポーツ推進委員の育成 競技団体から選出された推進委員や専門知識をもった講師などにより、研修会等の実施によって委員の技術・資質向上を図るとともに、広く市民に親しめる競技などを選定してスポーツ推進委員に体験してもらい、市民のスポーツ活動のきっかけづくりの材料提供を実施していく。</p>